

第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年3月8日
作成担当部署 魚沼市農林課農政室

2 第三セクター等の概要

法人名 有限会社ゆきくらフーズ
代表者名 代表取締役 風間 健
所在地 新潟県魚沼市須原2382番地1
設立年月日 平成10年7月
資本金 13,600千円
【魚沼市出資額（出資割合）10,000千円（73.5%）】
業務内容 農林水産物を原料とする製造又は加工及び販売
土産品・特産品の販売
雪むろの効率的利用
都市との交流や誘客

3 経営状況、財政的ナリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

有限会社ゆきくらフーズは、平成8年度に漬物の原材料（かたうりやきゅうり等）及び商品を雪中貯蔵して製品の付加価値を高め販売促進することにより、地域の農産物の安定的生産体制向上に寄与することを目的として建設された「雪むろと農産物加工所」を活用し、農林水産業と観光サービス業とが連携した都市との連携、余暇活動の場を提供することで農業振興に寄与するために設立された。

設立当初は観光客も多くあり順調に売上を伸ばしてきたが、平成16年の中越大震災、平成19年の中越沖地震などの風評被害、さらに平成23年の東日本大震災の影響もあり、観光客が激減したことで、売上も大幅な減少となり、平成23年度以降は債務超過の状況となっている。

魚沼市の財政負担としては、施設の老朽化に伴う大規模修繕や、老朽化した備品の購入を行っているが、売上減少に伴う補填や経費の負担などは行っていない。企業努力として負債の解消に向け、経費削減等の見直しを進めてきている状況である。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

経営健全化を図るため、経費削減等の見直しを実施した結果、平成27年度より少額ではあるが利益計上しており、累積債務は少額ではあるが徐々に減少してきている。

しかし、経費削減に努めても商品の売上額が伸び悩んでいる状況であることから、売上の増加に向けた取組について検討を行うほか、第三セクターを解散し民間企業への経営移譲を行う方向性についても検討を行っている状況である。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

売上増加に向けては観光客の誘致が大きな要因となることから、観光協会を中心とする関係機関・団体との連携を密にしながら、本来の目的でもある都市との交流を含め積極的な誘客活動に努め、観光客の増加を目指していく。

具体的には市内全体の観光客の増大に向けて観光協会等と協力しながら観光ルートやPR方法の見直しを図るとともに、企業の営業活動として関連企業と共同での市内宿泊施設とのタイアップによる誘客活動や首都圏に向けた営業活動の強化などにより自社商品の販売店である「ゆきくら館」への観光客の増加を図っていく。

また、既存の漬物以外の新商品の開発についても着手するなどの取組を行い、観光客一人当たりの商品購入単価の増加を図ることでも売上の増加を目指していく。

計画としては、2年後には「ゆきくら館」への観光客数を現在の約25,000人から平成22年度並の約40,000人～50,000人まで回復を図ることで、売上を現在の4,000千円から9,000千円程度まで上げるとともに、引き続き経費削減を続けることで、年間1,300千円（売上額の15%）程度の累積赤字の解消に繋がり、5年後には債務超過は解消できる予定である。

ただし、2年後の売上増加が計画どおり進まず状況の改善が図れない場合は、その1年後（2021年度末）を目途に第三セクターを解散し、民間事業者へ経営移譲を行う。

6 法人の財務状況

	項目	金額（千円）		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
貸借対照表から	資産合計	9,237	8,480	10,028
	（うち現預金）	94	38	1,556
	（うち売上債権）	0	0	0
	（うち棚卸資産）	5,127	4,426	3,999
	（うち固定資産）	4,016	4,016	4,473
	負債合計	13,380	12,469	13,927
	（うち地方公共団体からの借入金）	0	0	0
	資本合計	△4,143	△3,989	△3,899

	項目	金額（千円）		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
損益計算書から	事業純利益	595	442	493
	事業利益	331	△52	△108
	経常利益	706	334	269
	当期純利益	526	154	89